

日本観光ショーケースを検討・予定している皆さまへ

日本観光ショーケース実行委員会では、政府や自治体、会場等の要請に則り、ご参加される皆様の安全を確保し、感染症対策を定めた展示会を開催いたします。

開催にあたっては、日本展示会協会が策定した「展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」および、展示会場が定める指針にもとづいて運営してまいります。

来場を予定している皆様へのお願い

来場にあたっては【事前に来場登録】をお願いいたします。また、状況によっては【入場制限】をさせていただく場合もございますので、ご了承ください。

下記にあてはまる方は、参加をお控えくださいますようお願いいたします。

- ・発熱等の風邪症状が見られる方
- ・ご自身だけでなくご家族等が新型コロナウイルスに罹患した場合並びに発熱等の風邪症状が見られる方
- ・過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした方
- ・感染拡大している地域や国への訪問歴が14日以内にある方

入場時には、サーモグラフィーや非接触体温計などでの体温測定をいたします。

発熱症状が認められた場合は、入場をお断りさせていただきます。

当日は【**マスクの着用を必須**】とさせていただきます。

着用がない場合は、入場をお断りいたしますので予めご了承ください。

また、出展企業、関係者、運営スタッフもマスクを着用いたします。

食事は黙食にご協力くださいますようお願いいたします。

イベント開催時における感染症予防対策について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の通り感染症予防対策を実施いたします。
ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

「密閉」への配慮

- ・ 開放可能な窓やドアは開放するなど、密閉空間とならないよう換気を励行

「密集」への配慮

- ・ 来場登録による来場者管理
- ・ 来場者数を常時管理し、一定以上の来場数となったときには入場制限の実施
- ・ 密集が予想される箇所には案内スタッフとフロアマーカール等を設置

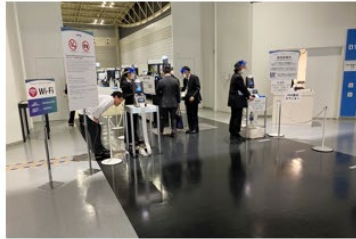
「密接」への配慮

- ・ 出展ブースに飛沫感染防止用対策（例：アクリルボード、透明カーテンなど）の投入
- ・ 講演会場や出展ブース等の配席間隔をあける

その他感染防止対策

- ・ 来場者、出展者、関係者等にマスクの着用を義務付け
- ・ 場内放送で消毒励行などの注意喚起
- ・ 手洗い、咳エチケット、ソーシャルディスタンスなどの啓発文章の設置（入場口）
- ・ アルコール手指消毒液の設置（入場口）
- ・ マスクの設置（入場口）※数に限りがございます。ご自身でもご準備いただきますようお願いいたします
- ・ 手指等が触れる共有部分の定期的な消毒

イベント会場における実施施策



会場入口での検温の実施



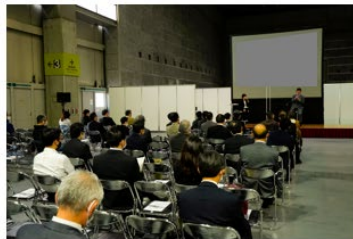
飛沫感染防止用対策した受付の様子



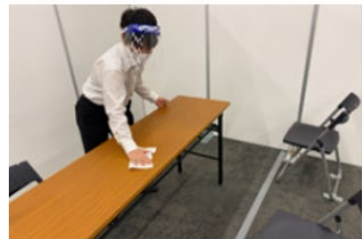
会場入口など混雑箇所のフロアマーカー



アルコール手指消毒液の設置



配置間隔をあげた講演会場の様子



共有部分の定期的な消毒

参考資料

- 日本展示会協会：「展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」
- 大阪府：<https://www.pref.osaka.lg.jp/kikaku/corona-kinkyuzitai/yousei20220101-.html>

お問合せ先

日本観光ショーケース実行委員会 事務局

info@japan-ts.jp

TEL.050-3066-9150（平日 10:00～17:00）

〒104-0041 東京都中央区新富 1-9-6 ザ・パークレックス新富町

イベント開催時のチェックリスト

【第2版（令和4年1月版）】

開催概要

本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご登録ください。

イベント名

第一回日本観光ショーケース in 大阪・関西
(開催案内等のURLがあれば記載)

出演者・チーム等

出展者 148 社 講演者 20 名 詳細はホームページ
(書ききれない場合は別途一覧を掲示すること)

開催日時

令和 4 年 3 月 26 日 10 時 00 分 ~ 18 時 00 分
3 27 10 00 17 00

開催会場

インテックス大阪

会場所在地

大阪府大阪市住之江区南港北 1-5-102

主催者

「日本観光ショーケース in 大阪・関西」実行委員会

主催者所在地

東京都中央区新富 1-9-6 ザ・パークレックス新富町 7F

主催者連絡先

(電話番号)

050-3066-9150

(メールアドレス)

info@japan-ts.jp

収容率(上限)



100% (※)
(大声なし)



人と人が触れ合わない
程度の間隔



50% (※)
(大声あり)



十分な人と人との間隔
(できるだけ 2m、最低 1m)

収容人数



収容定員あり

人



収容定員なし

参加人数

3 日間で延べ 10,000 人

その他特記事項

(大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載ください。)

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理する。

感染防止策チェックリスト

【第2版（令和4年1月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

①飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底



【大声なしの場合】
飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク（品質の確かな、できれば不織布）の正しい着用や大声（※）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じる。

（※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

【大声ありの場合】
「大声なしの場合」の「大声」を「常時大声を出す行為」と読み替える。

②手洗、手指・施設消毒の徹底



こまめな手洗や手指消毒の徹底を促す（会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施。）。



主催者側による施設内（出入口、トイレ、共用部等）の定期的かつこまめな消毒の実施。

③換気の徹底



法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気（1時間に2回以上・1回に5分間以上等）の徹底。

④来場者間の密集回避



入退場時の密集を回避するための措置（入場ゲートの増設や時間差入退場等）の実施。



休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制構築。



大声を伴わない場合には、人と人が触れ合わない間隔、大声を伴う可能性のあるイベントは、前後左右の座席との身体的距離の確保

感染防止策チェックリスト

【第2版（令和4年1月版）】

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

⑤ 飲食の制限



飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底。



飲食中以外のマスク着用の推奨。



長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、可能な限り、飲食専用エリア以外（例：観客席等）は自粛。



飲食提供は業種別ガイドラインの遵守、同一テーブル4人以内など、業態に応じた感染防止策を講じる
大阪府の要請に従った飲食・酒類提供の可否判断



（提供する場合には飲酒に伴う大声等を防ぐ対策を検討。）。

※イベント開催時における大阪府の要請内容については、HP等で確認してください。

⑥ 出演者等の感染対策



有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底する。



練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに対処する。



出演者やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる（誘導スタッフ等必要な場合を除く。）。

⑦ 参加者の把握・管理等



チケット購入時又は入場時の連絡先確認やCOCOAや大阪コロナ追跡システム等を活用した参加者の把握。



入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）等を理由に入場できなかった際の払戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止。



時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。